

活動報告（10月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村計画課

表題：【棚田】【一社一村】白檀の棚田で稲刈りが行われました

日時：令和6年10月27日（日）

場所：静岡県浜松市浜名区引佐町



10月27日（日）、浜松市浜名区引佐町にある白檀（しらかし）の棚田で稲刈りが行われました。

竜ヶ岩洞から車で5分程度の白檀の棚田は、令和4年に「つなぐ棚田遺産」に選定されています。

当日は、白檀棚田会、「一社一村しずおか運動」の協定を結んでいる株式会社フジヤマ、県立農林環境専門職大学の学生、白檀棚田会の声掛けで集まった一般の方々、約60人が参加し、協力して稲刈りを行いました。

また、棚田の保全活動や情報発信に活用するため、株式会社フジヤマが所有するドローンで田んぼを上空から撮影し、稲刈りの作業風景や稲刈り前後の風景を記録に残しました。

県立農林環境専門職大学の学生は、「地域盛り上げ隊」というサークルを設立し、本年度から創設された県の「農村次世代関係人口創出事業」を活用して、白檀の棚田で保全活動を行っています。

また、学生の一部は同大学の農山村デザイン演習（9月9～13日開催）も兼ねて参加しており、2月に関係機関へのヒアリング等を経て、3月10日（月）に成果報告会が予定されています。

西部農林事務所では、今後も棚田の保全活動を支援していきます。